



令和5年度新規配属職員紹介

荏原第二地域センター

副所長 齋藤 和哉

初めまして。令和5年4月より、荏原第二地域センターの副所長として着任しました齋藤和哉と申します。

私は平成23年度に入区し、荏原第五地域センター、戸籍住民課を経て、福島県富岡町に三年間、赴任してまいりました。赴任中に開館した町の博物館に携わり、主に施設管理や契約事務などに従事しました。

富岡町は東日本大震災および原子力災害により、地域コミュニティが大きく崩れ、その再生が復興の課題となっています。配属された博物館は、かつての歴史や生活を伝え、人々の交流の場となることで、この課題に取り組んでいます。

私自身も地域の営みや特徴、住民の思いに接する機会に恵まれ、改めて地

域を知るこの重要性を思わされました。

地域センターは、最も地域に近い場所であり、富岡町と同様の取り組みが大切であると思っています。早く荏原第二地区のことを知り、その一員として貢献できるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

荏原第二支え愛・ほっとステーション

森川 充浩

皆様初めまして。令和5年4月から荏原第二支え愛・ほっとステーションに配属されました森川充浩です。以前は、品川第一支え愛・ほっとステーションに勤務しておりました。支え愛・ほっとステーションは地域センター内にある相談窓口として、主に高齢者の福祉に関するご相談をお受けしています。荏原第二に開設されて、今年10月で丸12年を迎えます。皆様から多くのご理解・ご協力を得なが

ら、支え愛の輪が広がっていることを肌で感じています。

これからも地域の事などを教えていただきながら、荏原第二地区の皆様のお力になれますよう、頑張っていきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

荏原第二地域センター

所長 本河 亮介

令和5年4月に、副所長から所長に昇任しました本河亮介と申します。

今年度は地域の事業が再開されるなど、賑やかな日常が少しずつ戻ってきています。皆さんと地域を盛り上げていけるよう引き続き精進してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



次号のさいかち(第144号)は9月20日発行予定です。

第143号
2023.6

荏原第二
地域センター内
地域新聞編集部
電話(3782)2000
FAX(3782)2511

さいかち

荏原第二地域センターのホームページをご覧ください。
http://www.city.shinagawa.tokyo.jp/hp/menu000007300/hpg000007217.html

古紙を配合した紙を使用しています

地域の新聞です。一枚ずつお取りください。

新町会長紹介

旗の台二丁目町会



かみやま ひろあき
神山 博章

この度、5月の総会にて、高田前町会長に代わり、旗の台二丁目町会の会長に就任しました神山博章でございます。私は結婚を機に住み慣れた世田谷区から旗の台に移り、もう三十六年が経ちます。私が町会と係るようになったきっかけは副班長になったことから町会の会合に参加するようになったことで、その後当時の文化部部长の方に誘われて文化部に籍を置き、日

帰りバス旅行、奉納盆踊りなどの催し物に携わってきました。その後、文化部部长を十数年、副会長を経て、今日に至っております。当町会は東急旗の台駅を最寄り駅とする通勤、通学の利便な文教地区として発展し続けてきました。また、昭和大学、昭和大学病院の発展により恵まれた医療環境にあります。旗ヶ岡商店会、東口通り商店会と二つの商店会を有し、それぞれの商店会には防犯カメラの設置がされた防犯、防災の進んだ環境にあります。コロナの感染に伴い、三年間のプランクはあるものの町会会館を有効に使ったコミュニ

二丁目の活性化、少子高齢化に伴う高齢者の一人暮らしの増加、子どもや高齢者の見守り等の活動を高め、災害時にお互い助け合える環境を作っていきたいと考えております。

地域の中で近隣の皆様とも連携を持ちながら明るく、楽しい活動の推進を進めたいと思えます。皆様方のご支援、ご指導をよろしくお願いいたします。



桜まつり✿写真ギャラリー



桜は見事に開花！



人気のパターゴルフ



森澤区長ごあいさつ



迫力ある「むさし荏原太鼓」



たこ焼き・ヨーヨー釣り等の屋台は大行列



青少年対策荏原第二地区委員会

令和5年度イベント予定

事業名	日程	場所
ラジオ体操	7月21日(金)～31日(月) ※日数は会場によって異なります。	荏原南公園ほか 全5会場
ふるさとまつり	7月23日(日)	清水台小学校
秋の企画	10月8日(日)	第二延山小学校
軽スポーツ(かけっこ教室)	2月25日(日)	第二延山小学校



令和5年4月2日(日) 第51回桜まつり



春だ！桜だ！桜まつりだ！
咲き誇る桜の合間に取り付けられた立会道路の提灯は、やっと日常が戻ってきたようなワクワクした気持ちを沸き立たせてくれました。
子どもたちも大人たちも、地域のみんなで楽しみにしていた「桜まつり」が4年ぶりに開催。4月2日(日)の桜まつり当日は、桜の見ごろのピークは過ぎたものの、予想されていた雨予報をくつがえし、荏原南公園はたくさんの笑顔と笑い声で満ちあふれていました。
小山五丁目町会、小山六丁目町会、荏原五丁目町会、荏原六丁目町会、荏原七丁目町会、旗の台一丁目町会、荏原会の皆様がお好み焼き、焼き鳥、ヨーヨー釣り、パターゴルフ、綿あ



め、射的、豚汁などたくさんの模擬店を出してください、この模擬店も長蛇の列。公園の端から端までの列ができるお店もあり、公園内は歩くのも大変なほどの大盛況でした。「みんなに喜んでもらえる桜まつりに！」という町会やスタッフの皆様のご尽力に感謝感謝です。
足を運んでくださった森澤区長、荏原警察署・樋口署長、荏原消防署・南部署長にもご挨拶いただき、桜まつりに花を添えてくださいました。警察署・消防署ブースでは、車のライトに反射して光る反射材や交通標識などが書かれたマスキングテープ、小冊子などの無料配布がおこなわれ、改めて、我が地域の安全、平和を守ってくださいる存在のありがたさを感じました。



午前部を締めくくったのは、むさし荏原太鼓の皆さんによる演奏、小山六丁目町会有志の方による紙芝居、空手品川真樹道場の子も達による空手の演舞披露です。子ども達をはじめ、参加者は大喜び！大きな盛り上がりを見せました。
コロナへの対応も大きな転換点を迎える本年度は、様々な地域行事が再開される予定になっています。この度の「桜まつり」のように、地域一体となって、子どもたちの笑顔輝く催しを作っていけたらうれしいです。

